

アクセルを踏むな、ブレーキを緩めよう。

ISO への批判、ISO への寄りかかりはやめましょう



美しい日本（礼文島から利尻島を望む）

政権が変わりそうになるほど参議院選挙は野党の圧勝となりました。この原稿を書いている時は安倍首相の辞任、自民党総裁選挙が始まったときです。「美しい日本」は大丈夫なのか。この意見広告も今回で24回目丸2年以上続けてきました。第5回目に自序論を引き合いに出し、述べたように「どんな制度を作っても、それでアクセルを踏んだって品質・環境問題や情報リークが救えるわけではない」のです。環境は？品質は？行動は？日々の絶え間ない努力P-D-C-Aを自らの方針に従って確実に動かすことが大事ではないでしょうか。

新日本認証サービス株式会社(NJC)はアイルランド認定協会(INAB)から認定を受けているCertification Europe Ltd.(CEL)との提携により審査をしています。

お知らせ：

9月7日のお客様の日。北海道幌延の深地層研究センター訪問と美しい日本の自然とを見学してきました。
24回(2年間)にわたった意見広告も、いったん終わりにしようと思います。
ある方から「必ず一人は毎号楽しみにしていることを忘れるな」といった励ましをいただきました。これからは再開されるホームページの中で色々とお伝えして行きます。

「経営システム(マネジメントシステム)であるISOシステム規格が、役に立たないとか、役に立つ審査をと色々言われてきました。EMSやQMSの制度の担い手を民から官へと逆流させないこと。これは受審者の意識如何にかかっています」とも言いました。その後ISO認証取得会社による不祥事が相次いで、ISO9001:2000やISO14001:2004は役に立たない。あれがたりないこれが足りない、審査員は力量だと、この世界もすったもんだの二年でした。

このコラム広告で私は「お金を払って」アクセルを踏むな、ブレーキを緩めようと警告し続けてきました。そうすれば美しい日本は消えてしまうことは無いでしょう。経営においも「心の美しさ」を失った時品質も、安全も、情報もそして環境さえもが危機に直面していくのです。

今年の北海道での研修会でもお話したのですが、ISOのシステム規格、特にISO14001:2004はマネジメント(経営)システムとして古くから研究されているランチェスター法則や、20-80の法則、シュワルツの法則などの実践に密接なヒントが、中小企業経営のアイディア、原則がふんだんに取り入れられています。

ISOの導入、特に「認証」を得たからといって急に企業がすばらくなるわけではなく、様々な経営の原則に使うこそ役立つことになります。当社は「認定マーク」がどうの「価格」がどうの「審査員が近くから来る」などおよそ規格の利用に無関係な「顧客要求事項」に惑わされることなく多くの利害関係者に真に求められている要求事項それがまさに「規格要求事項」そのものであることを理解していただける組織とともにあゆんでいきたいと思えます。

そう、ブレーキを緩めれば車(システム)は自然に前に進みます。



(榑崎建志)



新日本認証サービス株式会社

〒541-0053 大阪市中央区本町1-5-7 西村ビル704
電話 06-4964-6881 FAX 06-4964-6882 <http://www.njc-jp.com>
当社へのご連絡・この広告へのご意見は njc-cel@nifty.com へどうぞ

Certification Europe Ltd.

157 Thomas Street, Dublin 8, Ireland